

公益社団法人インテリア産業協会

平成25年度事業報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

I 基本方針関連（概要）

創立30周年を迎え、インテリアコーディネーター（IC）・キッチンスペシャリスト（KS）などの人材育成とインテリアの普及に努め、公益社団法人としてインテリアを通じて住生活の質的向上に次のとおり努めました。

- ① IC・KSなど資格者増に向け同資格の魅力・将来性などをホームページ、展示会、コンテストなどを通じて訴求しました。また平成26年度からのIC試験制度改定に向けて、ICハンドブック改訂版を発行しました。
- ② 住生活者に信頼されるためにIC、KSの人材育成に努めました。
- ③ リフォーム関連団体との連携によりIC・KSによるリフォームへの活躍の機会を増やすように努めました。
- ④ 30周年を契機に若い世代へ向けてのインテリア普及・啓蒙活動を実施しました。

II 個別事業関係

1. 教育・情報提供事業

1-1 情報提供活動

ICハンドブック、KSハンドブック、その他の参考書類を作成頒布しました。

また、インテリアに関連する諸情報の提供については、ホームページにおいてKS関係情報充実、バナー表示の改善などを行い、メールマガジンではタイムリーな配信（IC 56回、KS 12回）に努めました。

ブラインド等のひもに関係した乳幼児等の製品事故に関して、東京都商品等安全対策協議会の調査・検討に参加するとともに、その安全対策に関する周知をホームページ及びメールマガジンを通じて一般消費者、IC・KS及び会員企業に対して行いました。

1-2 ICハンドブック改訂版の発行

従前の販売編と技術編の2冊のICハンドブックを統合した「インテリアコーディネーターハンドブック統合版」（上下巻）を、予定どおり平成25年11月に刊行しました。第1弾として約4,200セットを頒布しつつ、増刷の印刷を準備しました。

1-3 通信教育事業

通信教育事業関係については、次のとおり次年度に向けた新たな取組みを行うとともに、本年度の講座については確実に実施しました。

① IC受験講座

平成26年度からのIC資格試験の科目統合に対応して、ICハンドブック改訂に合わせて講座副教材の大幅改訂を行いました。

また本年度の講座は、のべ389名（前年度395名）が受講しました。

② KS受験講座

本年度の講座はのべ203名（前年度149名）が受講しました。

2. 資格認定試験事業

2-1 IC資格認定試験

第31回IC資格認定試験を、予定どおり実施しました。

一次試験 平成25年10月13日(日)

二次試験 平成25年12月8日(日)

合格者数等の結果は次のとおり。

■平成25年度(第31回)申請者・受験者・合格者の概要

【一次試験】(人)		【二次試験】(人)	
受験申請者数	11,007	受験申請者数	4,435(内、一次免除者 1,614)
受験者数	9,502	受験者数	3,868(内、一次免除者 1,223)
一次合格者数	2,941	二次合格者数	2,362
一次合格率	31.0%	二次合格率	61.1%

■合格者の推移

実施回[年度]	受験者数(注) (人)	合格者数(人) (二次合格者数)	合格率
平成25年度[第31回]	9,605	2,362	24.6%
平成24年度[第30回]	9,789	2,554	26.1%
平成23年度[第29回]	9,876	2,472	25.0%
平成22年度[第28回]	10,719	2,484	23.2%
平成21年度[第27回]	12,595	2,762	21.9%

注:一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者

2-2 KS資格認定試験

第26回KS資格認定試験を、予定どおり実施しました。

試験日 平成25年12月8日(日)(IC二次試験と同日)

本年度は、受験者が997名、合格者が394名の結果となりました。

■平成25年度(第26回)申請者・受験者・合格者と過去の推移

年度	申請者数			受験者数	合格者数	合格率(%)
	総合	実技・学科	総数			
25年度(26回)	868	354	1,222	997	394	39.5
24年度(25回)	853	294	1,147	891	342	38.4
23年度(24回)	804	392	1,196	935	388	41.5
22年度(23回)	973	477	1,450	1,174	506	43.1
21年度(22回)	1,243	587	1,830	1,519	582	38.3

2-3 資格認定試験実施地域

計画どおり宮崎会場を廃止して、I C・K S両試験共に次の全国12地域で実施しました。

札幌、盛岡、仙台、高崎、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡、沖縄

2-4 I C資格認定一次試験の科目統合の準備等

次年度からの科目統合一次試験、消費税改定に向けて、資格制度検討委員会等において、資格試験事業関係規程、試験の範囲、審査基準等を検討し、必要な改正、新規作成を行いました。また、K S関係の規程等についても関連した見直しを行いました。

3. 資格更新登録事業

3-1 登録更新の実施とシステム改善

定期的なI C・K S有資格者の登録更新を、必要なeラーニングを行うなどして確実に行いました。

計画どおり情報システム「I C資格者管理システム」及び「K S資格者管理システム」の利便性を高めるリニューアルを行い、速やかに運用を開始して本年度の資格更新事務作業の効率化を図りました。

3-2 更新者への有益情報の提供と更新率の向上

有資格者の活動に有益な知識・情報を盛り込んだ「I C・K S読本」を作成し、I C・K Sの更新該当者全員に、更新案内に添えて提供しました。

また、有資格者が利用できる協会の各種サービス等を紹介するパンフも同封して、更新率の向上を図りました。

平成26年3月6日時点の資格登録者数は次のとおりです。

◇I C資格者 60,679人 ◇K S資格者 13,681人

4. 講座等開催事業・I C団体との連携・協力

4-1 能力向上・インテリア普及啓蒙講座等の開催

会員企業等の参画を得つつ各地域の支部が実施の主体となり、I C・K Sの能力向上及びインテリアの普及啓蒙を目的とした講座、講演会等を、全国各地で以下のテーマ等で開催しました。

①北海道支部

◇2014 ファブリックトレンドセミナー 欧州見本市ハイムテキスタイル&ドモテックス報告

◇北海道暮らしから考えるインテリアキャンペーン（稚内・室蘭・帯広・苫小牧4市エリア開催）

◇モノづくり、見て確認、聞いて納得 ファクトリーツアー等々のスキルアップセミナーを中心に全5件（9回）を開催しました。

②東北支部

◇欧州トレンドセミナー2013

◇民芸のある美しい暮らし「民芸×インテリア」

等々のスキルアップセミナーを中心に全11件を開催しました。

③関東甲信越支部

◇「顧客ヒアリング・コンサルティングセミナー」

◇「インテリアにおけるカラーバランス」

◇「公開スキルアップセミナー 《デザインプロセス 伝える》」

等々のプレゼンテーション技術、色彩、照明、商品選定などのスキルアップセミナーを全19件開催しました。

④中部支部

◇新春会員情報交流会 2014/IC シンポジウム

◇名古屋新人研修会

◇会員企業によるインテリア製品セミナー

等々の新人IC研修、住設・照明・家具などの知識習得等のセミナーのほかシンポジウム、講演会など全14件を開催しました。

⑤関西支部

◇実践インテリアパース実技講座

◇インテリア製品説明会

◇出前講座（京都女子大ほか）

等々のプレゼンテーション技術、資格制度普及などのセミナー等を全8件（13回）を開催しました。

⑥中国支部

◇Total Interior Fair ビジネスフォーラム 2014

◇広島家具工場視察バスツアー～マルニ木工・ウッドプロ～

◇「室内の写真の撮り方」

等々、新人IC研修、家具知識習得など全7件のイベントを開催しました。

⑦四国支部

◇アート浴 2014

◇インテリアフェア 2014 イン徳島

のスキルアップ、講演会等のイベントを全2件開催しました。

⑧九州支部

◇親子ワークショップ「イス作り体験」

◇戸建て現場見学会

◇輸入壁紙&ファブリックセミナー

等々、IC・KSのスキルアップ、消費者へのインテリア普及啓蒙などのイベントを全35件を開催しました。

⑩沖縄支部

◇光と照明セミナー「HIKARI NO KATACHI」

◇インテリアトレンドビジョン2013 ～ヨーロッパ最新展示会レポート～

◇古民家鑑定士 山城興朝氏による 国指定重要文化財 中村家住宅の解説と講話
以上のIC・KSのスキルアップ等のセミナー、講演会を全3件開催しました。

⑪本部

千葉工業大学への出前講座として、インテリア産業とIC資格制度に関する説明セミナーを実施しました。

4-2 IC団体との連携・協力及びその活動支援

各地域のIC団体との連携・協力については、主に前述の各支部における講座開催事業において、テーマ募集・企画・実施を通じて連携・協力するほか共同開催するなどして活動を支援しました。

5. 調査研究支援事業

5-1 有資格者等の調査・研究活動助成

IC・KSが行う調査・研究への支援として、本年度は次のとおりキッチン関係についてテーマ公募・選定を行い、その活動資金を助成しました。各テーマ活動は計画に従い調査・研究詳細報告書の取りまとめ作業中です。(平成26年度当初時期に報告書提出予定)

- ①応募テーマ数 7件
- ②採択テーマ数 3件
- ③採択テーマ名(応募者)

◇キッチン周りを含めた家庭内省エネについてKS, ICの果たす役割の検証
(IC団体所属の有志による研究会)

◇団塊世代の男性が使うキッチン(IC団体)

◇発展途上国の食文化に対応したキッチンの提案(大学生個人)

6. コンテスト事業

IC・KS資格制度の普及と有資格者等の能力向上を目的に、以下のコンテストを継続実施しました。

6-1 「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」(第26回)

経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、コンテストを実施しました。特に30周年記念事業の一環として「高校生部門」を新設実施して、協会会長賞等の表彰を行い若い世代へのインテリアの普及啓蒙を図りました。

【一般部門】

①応募受付期間 平成25年10月15日(火)～11月15日(金)

②募集テーマ(応募作品数)

◇事例分野

新築部門(27) リフォーム部門(40) スタイル部門(22)

◇課題分野

A部門「私だけのインテリア空間」(248)

B部門「こだわりのインテリアと暮らす」(41)

◇応募総数 378作品

③審査実施日 12月6日

④審査委員

山田 智稔 (相模女子大学名誉教授)
 小野 由記子 ((公社)日本インテリアデザイナー協会 副理事長)
 河原 武儀 (ライティングコンサルタント)
 竹内 久美子 (インテリアコーディネーター)
 出口 尚美 (インテリアコーディネーター)
 三枝 早苗 (インテリアコーディネーター)

審査会オブザーバー

三橋 敏宏 (経済産業省 製造産業局 住宅産業窯業建材課長)
 山口 博章 (当協会 会長)

⑤審査結果 経済産業大臣賞 1 作品、製造産業局長賞 1 作品、会長賞 2 作品、
 部門賞 5 作品、優秀賞 5 作品、審査員特別賞 3 作品、合計 17 作品

⑥上位入賞作品一覧

■事例分野

受賞名	部門	作品タイトル	氏名
経済産業大臣賞	リフォーム部門	らしさを大切に繋いだ優雅な空間。	上木 浩二 石橋 謙司
インテリア産業協会会長賞	新築部門	千歳の住宅 A311	糸井 裕構
部門賞	新築部門	CACCO～家族のくいきを括る家	石上 芳弘 堀切 美加
部門賞	リフォーム部門	5+2 colored flat	和田 浩一
部門賞	スタイリング部門	出窓ライブラリー	川上 堅次

■課題分野

受賞名	部門	作品タイトル	氏名
製造産業局長賞	A 部門「私だけのインテリア空間」	空の Tricot	関 緑
インテリア産業協会会長賞	A 部門「私だけのインテリア空間」	AIR STEP	古田 雅敏
部門賞	A 部門「私だけのインテリア空間」	二つの「しよく」でおもてなし	藤岡 千咲
部門賞	B 部門「こだわりのインテリアと暮らす」	生きるちから	大石 綾乃

【高校生部門】

①応募受付期間 平成25年11月16日～12月26日

②募集テーマ 楽しいリビングの提案(課題)

③応募数 67件(11校)

④審査実施日 1月25日

⑤審査委員

楚山 修司 (全国高等学校インテリア科教育研究会理事長)
 戸國 義直 (ICSカレッジオブアーツインテリアデザイン科学科長)
 江口 恵津子 (インテリアコーディネーター/JAFICA副会長)
 荒井 詩万 (インテリアコーディネーター/CHIC INTERIOR PLANNING)

⑥審査結果 会長賞 1 作品、部門賞 1 作品、優秀賞 2 作品、奨励賞 4 作品、
 合計 8 作品

⑦上位入賞作品一覧

■高校生部門

受賞名	作品タイトル	氏名
インテリア産業協会会長賞	VARIOUS 読書 FORMS	人見 玲実
高校生部門賞	宇宙空間	渡辺 真子
優秀賞	家族の森	佐竹 祐保
	渦の間	大神田 弥夢

6-2 「キッチン空間アイデアコンテスト」(第3回)

KS資格制度の普及の一環として、全体テーマ「こんな人に、こんなキッチン伝えたい」を旗印にして、昨年度に引き続き次のとおり実施しました。

【実施概要】

①テーマ受付期間 平成25年10月1日(火)～11月8日(金)

②募集テーマ(応募数)

A 団らんキッチン空間(159)

B 人に優しい空間・地球に優しいキッチン空間(71)

C 暮らしが変わったキッチンリフォーム空間(27)

応募総数 257作品

③審査実施日 11月29日

⑤審査委員

審査委員長 上野 義雪 (千葉工業大学 教授)

審査委員 樋口 恵美子 (キッチン・バス工業会キッチン技術専門委員会委員)

西田 恭子 (三井のリフォーム住生活研究所 所長)

山口 博章 (当協会会長)

江藤 祐子 (当協会KS資格普及啓蒙委員会委員長)

⑥審査結果 会長賞1作品、部門賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞4作品、
合計8作品

⑦上位入賞作品一覧

受賞名	テーマ	作品タイトル	氏名
インテリア産業協会会長賞	A	飛び出せ、キッチン。	関 美和
優秀賞	C	見えているけど見えすぎない “ちょうどいい”キッチン	小島 真紀
優秀賞	B	ギュッチン	江嶋 大輔
優秀賞	B	おばあちゃんと私と菜園キッチン	志茂 彩葉
優秀賞	A	ためしてキッチン!	塩月 卓也

7. インテリア普及啓蒙・展示会開催事業

7-1 こんな部屋いいな絵画展示会(小学生対象)

(1) 東北支部「こんな部屋いいな絵画コンテスト(第11回)」

本年度も引き続き東北支部が地域のIC団体や仙台市等との共催で小学生を対象にして実施しました。

①共催 宮城インテリアコーディネーター倶楽部

デザインウィーク in せんだい実行委員会

- ②募集対象 仙台市を中心とした宮城県下の小学生
 - ③募集テーマ 「こんな部屋いいな」
 - ④募集期間 平成25年8月末～10月22日
 - ⑤応募総数 1597作品(63校)
 - ⑥入賞 仙台市長賞、仙台市教育長賞、協会会長賞等
◇受賞者例 仙台市長賞 斎藤叶美(小6)
 - ⑦表彰式 平成25年12月8日(仙台メディアテーク)
- (2)九州支部「こんな部屋いいな絵画コンテスト(第1回)」
- 九州支部でも東北支部での実施例を基に地域のIC団体・教育委員会等の協力を得て、同名のコンテストを小学生を対象にして実施しました。
- ①共催 鹿児島県インテリアコーディネーター協会
 - ②後援 鹿児島市教育委員会、株式会社 Misumi
 - ③募集対象 鹿児島市を中心に始良市、霧島市の小学校
 - ④募集テーマ 「こんな部屋いいな」
 - ⑤募集期間 平成25年12月～平成26年1月20日
 - ⑥応募総数 1065作品(35校)
 - ⑦入賞 最優秀賞、九州支部長賞、鹿児島県IC協会会長賞等
◇受賞者例 最優秀賞 角 沙羅(小6)
 - ⑧表彰式 平成26年3月8日(オプシアミスミにて)

7-2 中学校技術家庭科用のインテリア副読本の作成配布

30周年記念事業の一環として、全国の中学校の技術家庭科でインテリアを学んでもらうための、「技術家庭科・副読本」の配布については、当初予定の10万部を超えた追加印刷を行い、104,000部が主に全国の公立中学校621校で利用されました。

7-3 展示会「リフォーム&インテリア2013」

日本経済新聞社との共催で昨年度から始めた「リフォーム&インテリア」を本年度も開催しました。開催概要は次のとおり。

①開催概要

名称 リフォーム&インテリア2013
 会期 2013年9月27日(金)～29日(日)
 会場 東京ビッグサイト西展示ホール (全体約8,800㎡)
 主催 当協会および日本経済新聞社の共催

②来場者数結果(人)

27日 10756、28日 8017、29日 6278、合計 25051(前年 30713)

③当協会の企画展示内容 (当協会エリア分 2000㎡)

◇「インテリアのヒラメキ」3シーンの展示(IC・協力企業の参加)

○Natural Harmony 担当IC 竹内久美子氏
 ○Ecological Basic 担当IC 三枝早苗氏
 ○Smart Luxury 担当IC 出口尚美氏

◇インテリア・エレメントギャラリー(協力企業の参加)

協力企業数 23社+1グループ(9社)、計32社

◇ライティング(照明)提案ゾーン(4社)

◇リフォームアイデア100(パネル展示)

◇コンテスト作品展示(パネル展)

◇セミナーコーナー(協力企業等による10セミナーを実施)

④まとめ

過去の日経リフォーム博の開催状況と本年度の来場状況を踏まえて、日経新聞社との共催による「リフォーム&インテリア」展示会は、本年度をもって終了することとしました。

8. 交流活動

インテリア関連の業界団体、教育機関、学術団体等との連携、関連メディアとの交流を引き続き推進しました。

例えば、リフォーム関連団体とは①(一社)リフォーム推進協議会への広報・研修関係委員会への委員派遣、②(一社)日本住宅リフォーム産業協会副会長の当協会のKS資格普及啓蒙委員会委員への招へいを行い、相互の連携を深めました。

そのほか③(公社)商業施設技術団体連合会の理事を当協会役員が兼任することになり、相互協力を一層図れるようになりました。

また、内閣府、経済産業省など関係官公庁との連絡を的確に行い、当協会の諸事業の適正な運営に努めました。

III 協会の組織運営

1. 協会本部に設置する委員会組織体制と主な活動内容

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会各事業の実施・運営方針等を審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。

具体的には次のとおり。

(1) 運営委員会

本委員会では、協会事業の重要方針・事業等として、平成26年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映しました。また30周年記念事業の進捗を点検するなど全3回の委員会を開催しました。

(2) 情報・広報委員会

本委員会では、ホームページの各種コンテンツの充実や一般生活者からのインテリア空間写真募集・掲載に注力したほか、アクセス数の向上の方策を講じるなど全7回の委員会開催を行って情報・広報事業活動を展開しました。

(3) 資格制度検討委員会

本年度からIC関係とKS関係の制度関係委員会を統合した本委員会では、ICハンドブック統合版刊行の進捗管理を行うとともに、平成26年度からのIC科目統合一次試験の審査基準等の審議、関連するKS関係の規定見直しの審議等の活動を行いました。委員会は全3回開催されました。

(4) インテリア普及啓蒙委員会

本委員会では、中学校技術家庭科用の副読本頒布事業の計画・実施に係る審議・進捗管理を行い、年度内の迅速な頒布を推進しました。

また、展示会「リフォーム&インテリア 2013」の企画内容・計画の審議を行いその円滑な実施を実現したほか、次年度以後の展示会事業開催方針を立案しました。さらに、「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」の具体的な実施方策などについて審議するなど、全9回の委員会により精力的に活動しました。

(5) KS普及啓蒙委員会

本委員会では、「キッチン空間アイデアコンテスト」の企画・実施の審議を通じた普及啓蒙、KS・IC等が行う調査・研究テーマへの助成事業の企画・実施の審議を通じた有資格者の育成活動を行ったほか、KS資格の普及方策の検討など全6回の委員会開催により行いました。

2. 会員活動

2-1 入会促進活動

幅広く関連企業・団体等に入会を働きかけるとともに、支部活動においても、セミナー等の各種イベントを通じて未加入企業等の参加を呼びかけました。

3月末での正会員数は169（前年度167）賛助会員は40（前年度37）となりました。

2-2 「会員管理システム」のリニューアル

情報システム「会員管理システム」をリニューアルし、システムの機能向上、使用勝手の改善を行い、本部の利用に留まらず支部のアクセスを可能にしました。

リニューアル後の11月から速やかに本格運用に入りました。

3. 広報活動（協会および資格制度等）

3-1 協会ホームページのWEBコンテンツの充実

◇資格試験情報の表示ページを見やすくデザインを変更するとともに、掲載情報のタイムリーな更新に努めました。

◇一般生活者にインテリアの魅力を広報する「インテリア大好き」サイトでは、魅力的なインテリアシーンを充実して生活者がインテリアの工夫を行う上でのポイントを掲載しました。

◇比較的アクセスの多いインテリア科目を有する大学等の教育機関を一覧にした「インテリアを学べる学校」サイトの情報充実を図りました。

◇掲載情報を充実していくために、アクセス解析ツールを導入してWEBサイト訪問者が閲覧したページ等を分析できるようにしました。

3-2 協会会報、30周年記念誌の発行

会報を内容の充実を図りながら年4回発行することを継続しました。また、その配布先管理についても支部の会員管理システムへのアクセスの改善を行い、モレや重複を効率的に防止する見直しを行いました。

30周年記念事業の一環として、協会の歩んで来た道筋を記録した「インテリア

産業協会30周年記念誌」を編纂し、6月に発行し会員や関係団体等に配布しました。

3-3 協会事業案内パンフレットの改訂

事業案内パンフレットを改訂して、引き続き広報等に利用しました。

3-4 協会のロゴ・マークのリニューアル

30周年記念事業の一環として、協会のロゴとマークを一新しました。

マークについては、インテリアの「i」をモチーフにして未来に向かって協会が飛躍するイメージをシンボル化しました。協会名のロゴについては、若々しさを感じさせる読みやすい書体としました。

6月からホームページや各種印刷物に表示して利用を開始しました。

以 上